

中野市の可燃ごみ・埋立ごみの月別排出量

平成20年2月

区分	月	16年度 (t)	18年度 (t)	19年度 (t)	16年度 対比	前年度 対比
可燃ごみ 平成22年度 減量目標は 16年度対比 -25%	4	1,218.82	1,111.70	1,067.68	-12.4%	-4.0%
	5	1,257.17	1,356.38	1,261.29	0.3%	-7.0%
	6	1,200.57	1,190.66	1,168.21	-2.7%	-1.9%
	7	1,245.79	1,237.16	1,247.24	0.1%	0.8%
	8	1,371.57	1,347.98	1,393.67	1.6%	3.4%
	9	1,183.32	1,216.62	1,498.64	26.6%	23.2%
	10	1,186.33	1,225.48	828.68	-30.1%	-32.4%
	11	1,195.05	1,182.00	861.76	-27.9%	-27.1%
	12	1,196.53	1,243.43	929.30	22.3%	-25.3%
	1	1,018.04	1,094.42	794.20	22.0%	-27.4%
	2	894.37	926.51			
	3	1,176.24	1,136.12			
	計	14,143.80	14,268.46	11,050.67		
	目標		14,120.00	125,780.00		
	目標対比			101.1%		
埋立ごみ 平成22年度 減量目標は 16年度対比 -20%	4	13.26	24.00	18.02	35.9%	24.9%
	5	12.34	28.22	17.32	40.4%	38.6%
	6	10.18	17.04	14.87	46.1%	12.7%
	7	8.27	12.98	13.89	68.0%	7.0%
	8	9.90	14.11	15.60	57.6%	10.6%
	9	6.51	16.09	43.15	562.8%	168.2%
	10	10.18	15.16	9.82	-3.5%	-35.2%
	11	10.84	15.69	7.14	-34.1%	-54.5%
	12	14.19	17.18	9.71	-31.6%	-43.5%
	1	1.95	7.66	6.57	236.9%	-14.2%
	2	2.23	20.33			
	3	10.10	16.75			
	計	109.97	205.21	156.90		
	目標		106.00	102.00		
	目標対比			193.6%		
(参考) プラスチック製 容器包装 19年10月から	10			31.71		
	11			37.35		
	12			32.50		
	1			43.18		
	2					
	3					
計			144.74			



有料化とプラ分別を実施した10月以降、ごみの量は可燃・埋立とも例月を大きく下回っています。
また、1月はプラスチック製容器包装の量が前月より32.9%増えました。
今後ごみの減量と分別にご協力をお願いします。

中野市 くらしと文化部 環境課
電話22-2111(内線245)、有線20592
kankyo@city.nakano.nagano.jp

ごみ減量化委員会の経過

中野市で発生する可燃、資源、埋立ごみの総量を減らすことであるが、特に可燃ごみにおいて、分別を徹底し、リサイクル率を上げるとともに減量を目的とする。

- H17. 1. 19 中野市環境審議会において審議、承認される
 - ・市民公募と関係団体への参加を呼びかけ構成することとする。
- H17. 2. 28 (仮称) 中野市ごみ減量化委員会委員の公募を行う
 - ・市の広報誌(広報なかの)、中野市ホームページ、ローカル紙、有線放送により募集を行う。
- H17. 3. 3 市内スーパーマーケット各店との打合せ
- H17. 3. 29 第1回(仮称)中野市ごみ減量化委員会
 - ・中野市一般廃棄物処理計画の説明
- H17. 4. 20 第2回(仮称)中野市ごみ減量化委員会
 - ・組織の名称を「中野市ごみ減量化委員会」とした。
 - ・委員より提案の発表
- H17. 5. 24 第3回 中野市ごみ減量化委員会
 - ・小委員会を設け、各班で検討していく。
 - 1班 有料化と収集方法について
 - 2班 再利用及び分別の種類と方法について
 - 3班 生ごみ処理について
- H17. 6. 21 第4回 中野市ごみ減量化委員会
 - ・各班に分かれて検討
- H17. 7. 21 第5回 中野市ごみ減量化委員会
 - ・各班より中間発表
 - ・各班へ質問・意見
- H17. 8. 31 第6回 中野市ごみ減量化委員会
 - ・各班の検討項目について全体で話し合う。
 - ・有料化を行うことに決定する。
- H17. 9. 21 第7回 中野市ごみ減量化委員会
 - ・第6回に引続き検討項目について話し合う。
 - ・有料化する品目について「可燃ごみ及び埋立ごみ」を有料化と決定する。
 - ・料金体制として「単純従量制」で行うことで決定する。
 - ・有料化の種類、金額の設定については、有料化を行っている各市の方法を参考にし、再度検討する。
 - ・収集方法については、戸別収集ではコストがかかりすぎるため、従来どおりステーション収集とする。
- H17. 10. 18 第8回 中野市ごみ減量化委員会
 - ・有料化の種類については、可能な限り飯田市を参考とし、ゴミ袋に直接処理料金を上乗せして市民へ販売する。なお、場合によってはシール制チケット制も検討。
 - ・金額の設定については、各市と同じレベルとし、30^{リットル}10袋600円とする。
 - ・プラスチックの分別について検討する。

H17. 11. 17 第9回 中野市ごみ減量化委員会

- ・プラスチック製容器包装の分別を行うことに決定する。
- ・廃食用油の収集については現在年2回行っているが、回数を増やしていくこととする。
- ・古着古布、剪定木については収集方法や運搬方法など検討は必要であるが分別する。
- ・分別方法の徹底として生ごみの分別ではコンポストアドバイザーを設ける。
- ・ごみ袋への記名については、自分で出したごみは責任を持つべきであることから原則記名として環境審議会へ提出する。

H18. 1. 27 第10回 中野市ごみ減量化委員会

- ・今後の取組むべき課題
 - ・生ごみの問題
 - ・発生抑制の方策
 - ・分別徹底の方策
 - ・不法投棄、野外焼却の対応
 - ・民間等の協同のあり方
 - ・実動組織の方策

H18. 3. 3 第11回 中野市ごみ減量化委員会

- ・H18・19年度のスケジュールについて検討する。
- ・生ごみの処理については、各家庭、グループなど小規模な範囲を対象として減量していくこととする。
- ・前回の今後取組むべき課題とした6項目を2班に分け検討することとする。

1 班	2 班
・分別徹底の方策	・生ごみの問題
・民間等の協同のあり方	・不法投棄、野外焼却の対応
・発生抑制の方策	・実動組織の方策

H18. 5. 25 第12回 中野市ごみ減量化委員会

- ・環境審議会での答申結果について
- ・前回に引き続き班別検討会

H18. 7. 27 第13回 中野市ごみ減量化委員会

- ・班別検討結果の発表

H18. 8. 3 第14回 中野市ごみ減量化委員会

- ・前回に引き続き班別検討結果の発表

H19. 6. 19 第15回 中野市ごみ減量化委員会

- ・前回以降の状況報告（昨秋の説明会、環境フォーラム等）
- ・今後のスケジュールについて（説明会日程等）

H19. 10. 1 可燃・埋立ごみの有料化、プラスチック製容器包装分別開始

H20. 2. 14 第16回（最終回） 中野市ごみ減量化委員会

- ・10月以降のごみの状況について
- ・今後の取り組み（古布、衣類の分別収集、サンデーリサイクル、環境フェスティバル等）について